

技能検定講習会を開催

本番での合格めざし 94 人が受講

関西鉄筋工業協同組合（岩田正吾理事長）は 12 月 1 日と 2 日の二日間、東大阪市の府立東大阪高等職業技術専門校（テクノセンター東大阪）で「平成 24 年度後期鉄筋施工技能検定試験」の受検予定者を対象とする講習会を開催しました。二日間の講習会には 1 級技能士試験の組立作業（学科・実技）に 51 人、施工図作成作業に 43 人の合計 94 人が受講し、本番の試験に備えました。

初日の開講式では、組合の技術委員長でもある戸田裕雄副理事長が挨拶し「関西での受検者が 100 人を超えていることは、我々の業界にとっては喜ばしいこと。皆さんは普段、現場の第一線で活躍されていると思うが、資格を取ってさらに腕を磨き、登録基幹技能者となって鉄筋工事技術のリーダーを目指してほしい。講師陣もしっかり指導するので皆さんもがんばって受講してください」と激励しました。

この後、講師を務める組合の技術委員のメンバーが紹介されたのに続き、二日間にわたる講習が開始されました。組立作業では初日の午前に学科、午後に実技を、二日目の午前に学科講習をそれぞれ行い、施工図作成作業は二日間で二班が受講しました。このうち、組立作業では来年 1 月 26 日と 27 日の両日にも講習会が行われます。

本番の試験では 1 月 13 日の施工図作成作業試験の 1 級に 61 人、2 月 3 日の組立作業・学科試験に 1 級 88 人、2 級 3 人の合計 91 人、そして 2 月 11 日と 12 日の同・実技試験に 1 級 99 人、2 級 3 人の合計 102 人がそれぞれ受検する予定です。



